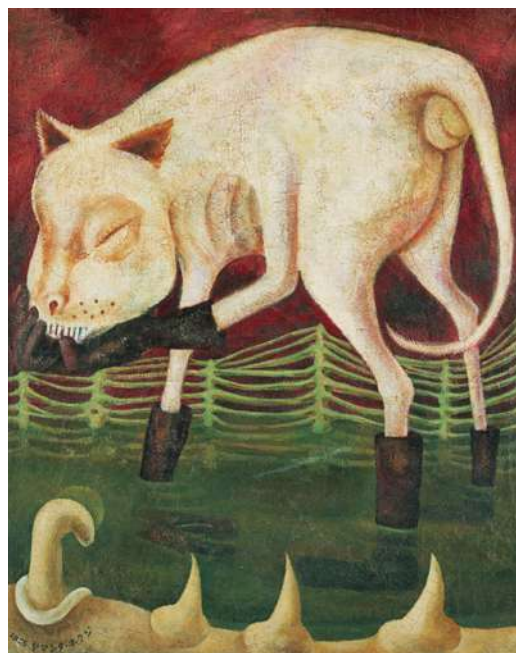


「東京の猫たち」展 press release

東京・区立美術館ネットワーク連携事業  
Joint Project by the Tokyo City Museum Network

Cats  
of  
Tokyo

# 東京の 猫たち



図版番号: ①②③④ (右上から時計回り)

※それぞれのキャプションは次ページに記載。

2022年4月23日(土)～6月12日(日) 目黒区美術館

午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) 月曜休館  
観覧料: 一般800(600)円/大高生・65歳以上600(500)円/中学生以下無料  
\*障がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金  
\*目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません)  
主 催: 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館  
新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる可能性があります。  
ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ等でご確認のうえご来館ください。



Meguro  
Museum of  
Art, Tokyo



## 開催概要

目黒区美術館は今から35年前の1987年に、都内7番目の区立の美術館として開館しました。2018年から、都内の区立美術館11館が集まり、「東京・区立美術館ネットワーク」として連携活動を続けています。これまで、各館の活動を紹介するチラシの共同作成や、討論イベント、情報交換などを行ってきました。

この度は、このネットワークに参加するコレクションを有する10館から、猫を描写した作品が、目黒区美術館に集結します。各館自慢の猫たちは、単に可愛らしいだけでなく、作家が猫を描くことの意味を提示しています。猫は、画家にとっては繊細な毛を、彫刻家にとってはしなやかな身体のラインを表現できるモチーフです。また、多くの芸術家にとって、猫は社会にとらわれない自由な存在としての憧れや共感の対象でもあります。古くから猫は勇猛な「虎」の画題にも連なりますが、本年2022年は寅年でもあります。

身近で親しみやすい猫を取り上げていますが、実際にご覧いただく作品は、各館のコレクションの特徴を反映しています。展示をとおして、多彩な東京の区立美術館の活動についてもご紹介します。

### 表紙の図版

- ❶ 山下菊二《そこあさり》1955年、油彩・キャンバス  
80.2×64.3cm、豊島区
- ❷ 稲垣知雄《猫面A》1974年、木版・紙、15.0×10.0cm  
世田谷美術館
- ❸ 小野木学《「ねこの王様」挿絵原画》(部分) 1974年  
アクリル・キャンバスボード、32.0×41.0cm  
練馬区立美術館
- ❹ 朝倉文夫《たま(好日)》1930年、ブロンズ  
45.5×37.7×19.0cm、台東区立朝倉彫塑館

- ❺ 秋山泰計《〈夢の旅Ⅱ〉B猫(部分)》  
1985年、木版、墨・紙、51.4×72.6cm  
渋谷区立松濤美術館



- ❻ 木下晋《シロ1》1988年  
鉛筆・ケント紙、50.0×99.8cm  
目黒区美術館

- ❼ 市川甘斎《葛飾真草画譜上》  
画帖、24.2×33.6cm、すみだ北斎美術館  
(4月23日～5月22日までの展示)



- ❽ 川端龍子《眠猫》  
1933年、絹本彩色、66.5×85.8cm(一幅)  
大田区立龍子記念館



- ❿ 柴田是真《猫鼠を覗う図》  
1884年、絹本著色、132.1×42.3cm(一幅)  
板橋区立美術館



## 東京・区立美術館ネットワーク 参加館

(開館年(予定も含む)順)

板橋区立美術館	1979年5月
渋谷区立松濤美術館	1981年10月
練馬区立美術館	1985年10月
世田谷美術館	1986年3月
台東区立朝倉彫塑館	1986年に公立化
〇美術館(品川区)※	1987年4月
目黒区美術館	1987年11月
大田区立籠子記念館	1991年に公立化
豊島区立熊谷守一美術館	2007年に公立化
すみだ北斎美術館	2016年11月
豊島区文化商工部文化デザイン課芸術文化推進グループ	

※〇美術館は、今回は作品の出品はありません。

## 開催情報

タイトル	東京・区立美術館ネットワーク連携事業 「東京の猫たち」
会期	2022年4月23日(土)～6月12日(日)
会場	目黒区美術館
開館時間	10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日	月曜休館
観覧料	一般800(600)円、大高生・65歳以上600(500)円、中学生以下無料 *障がいのある方とその付添者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金 *目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります (他の割引との併用はできません)
主催	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
交通機関	JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口) から徒歩10分 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り) 下車徒歩3分
ホームページ	<a href="https://www.mmat.jp">https://www.mmat.jp</a>

## 広報写真

本リリース掲載の作品画像 ①～⑨ を本展広報用写真としてご提供いたします。  
ご希望の方は、申込用紙(4ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をお書き添えいただき、  
FAXでお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。

## 本展の問い合わせ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 山田・誉田 / 事務担当 天野  
〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36  
TEL 03-3714-1201(代表) FAX 03-3715-9328(代表)  
E-mail: [mmatoffice@mmat.jp](mailto:mmatoffice@mmat.jp) <https://www.mmat.jp>

宛先：目黒区美術館 〔広報担当〕 竹森 宛て  
 FAX：03-3715-9328 e-mail：mmatoffice@mmat.jp

■ 本票に必要な事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の画像番号をお知らせ下さい。

お申し込み日	年 月 日		
御社名 ご担当者氏名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
掲示媒体名 (雑誌名など)			
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 ( ) 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ( )		
発行・放送予定日	年 月 日		
ご希望の画像	ご希望の図版番号をご記入ください		
画像の使用条件等	* 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。 * データを第三者に渡すことは禁止いたします。使用后、データは破棄してください。 * 展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。 * 写真への文字載せ、画像加工(トリミング・色調整など)は不可です。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 * キャプション、クレジットは必ず明記してください。 * 掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。 Web サイトは公開後に URL をお知らせください。 * 当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。		
連絡欄			

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。  
お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【画像の使用条件等】の内容をご了承いただくことが条件となります。  
必ずご確認くださいませようお願いします。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を读者プレゼント用に提供いたします。  
 ご希望の方は下記にご記入ください。  
 读者プレゼント用招待券を [ 希望する ・ しない ]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館  
 TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328  
 展覧会担当(学芸): 山田・誉田 事務担当: 天野 広報担当: 竹森